

## 【第2弾 ごみを減らす取り組み】回答

### 1. 3R（スリーアール）のうち、一番に取り組む必要があるのはリデュース（Reduce）

だが、その意味はどれ？

- ① ごみを減らすこと
- ② 繰り返し使うこと → リユース
- ③ もう一度資源に戻すこと → リサイクル
- ④ 修理して長く使うこと → リペア
- ⑤ 不要なものはもらわない → リフューズ

### 2. 家庭で取り組める生ごみの減量方法の一つであるダンボールコンポストについて、

間違っているものはどれ？

- ① ダンボールコンポストとは、微生物が生ごみを分解し、堆肥化する方法である。
- ② ダンボールコンポストは通気性がよくなるよう、より薄手のダンボールを利用するとよい。 → 薄手のものは通気性はよいが、水分で劣化しやすいため、みかん箱のような二重のダンボール箱が適当である。
- ③ ダンボールコンポストには、野菜や果物の皮などを入れることができる。
- ④ ダンボールコンポストの基材として、金沢産の農林廃材を活用した「金沢産ダンボールコンポストの素」が販売されている。
- ⑤ ダンボールコンポストでできた堆肥は、土壌改良剤となる。

### 3. 金沢市では、燃やすごみの減量のため、古紙のうち「雑がみ」の回収促進に取り組んで

いるが、次のうち「雑がみ」として出せるのはどれ？

- ① ビールなどの6缶パック → 水に溶けにくいため、リサイクルできない。
- ② 写真・アルバム → 水に溶けにくいため、リサイクルできない。
- ③ 金属やプラスチックを取り除いたカレンダー
- ④ 食品が直接触れていた容器 → 衛生上、リサイクルできない。
- ⑤ 和紙 → 一般的な紙（洋紙）と原料が違うため、リサイクルできない。